

問1 鎌倉幕府において、将軍が御家人に本領を安堵したり新恩を給与したりすること、御家人が軍役などを果たすことの結びつきを何という？

1. 御恩と奉公 2. 本領安堵 3. 新恩給与 4. 年貢徴収

問2 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒を目指して挙兵し、敗北した事件を何という？

1. 承久の乱 2. 保元の乱 3. 元寇 4. 平治の乱

問3 鎌倉時代に東大寺南大門を再建し、大仏様の建築様式を取り入れた僧侶は誰？

1. 親鸞 2. 道元 3. 重源 4. 明庵栄西

問4 承久の乱の後に、京都で朝廷の監視や西国の統治を行う六波羅探題を設置した人物は誰？

1. 北条政子 2. 北条時宗 3. 北条義時 4. 北条泰時

問5 『東方見聞録』の中で、ヨーロッパに紹介された日本の呼び名を何という？

1. エデンの園 2. 黄金の国ジパング 3. エルドラド 4. 理想郷シャングリラ

問6 浄土宗の教えが急激に広まったことを警戒した旧仏教勢力との対立により、法然が讃岐へ流された出来事を何という？

1. 建永の法難 2. 承元の法難 3. 嘉元の法難 4. 元寇

問7 鎌倉幕府が、地方の軍事や警察、徴税を行うために設置した役職は守護と何か？

1. 執権 2. 評定衆 3. 守護 4. 地頭

問8 北条泰時が制定した、日本最初の武家法の別名を何という？

1. 建武式目 2. 公事方御定書 3. 貞永式目 4. 御成敗式目

問9 鎌倉時代にモンゴル帝国を築き、日本への侵攻を命じたと言われる君主は誰？

1. フビライ・ハン 2. チンギス・ハン 3. テムジン 4. バトゥ

問10 後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして起こし、幕府がこれを鎮圧した戦いを何という？

1. 元寇 2. 宝治合戦 3. 元弘の乱 4. 承久の乱

問11 鎌倉幕府の御家人が、軍役として警備を担当した場所をどこ？

1. 京都 2. 鎌倉 3. 大宰府 4. 平泉

問12 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？

1. 国風文化 2. 天平文化 3. 鎌倉文化 4. 室町文化

問13 日蓮宗の開祖である日蓮が、信仰の証として唱えることを推奨した経典の題名を何という？

1. 他力 2. 回向 3. 禅定 4. 題目

問14 鎌倉時代の力強い武士の気風を反映し、東大寺南大門に安置されている、運慶らによって作られた有名な彫刻を何という？

1. 釈迦如来像 2. 金剛力士像 3. 観音菩薩像 4. 阿弥陀如来像

問15 一遍が踊り念仏を通して信仰を広めた、浄土信仰の中心となる仏を何という？

1. 釈迦如来 2. 薬師如来 3. 大日如来 4. 阿弥陀仏

答え合わせ・解説

問1	答え 1 御恩と奉公	将軍が武士（御家人）の土地の支配を保障することや、新しい土地を与えることを「御恩」といいます。対して、武士は京都や鎌倉の警備をしたり、戦いの際に軍役を務めたりする「奉公」を行いました。この相互の契約関係が幕府の統治の基盤となりました。
問2	答え 1 承久の乱	1221年、後鳥羽上皇が幕府の倒幕を狙って挙兵した事件を承久の乱と呼びます。北条政子の演説によって御家人たちが結集し、幕府軍は朝廷軍を圧倒しました。この乱の結果、幕府は朝廷の力を抑え込むことに成功し、天皇の廃位や配流を行う権限まで持つようになりました。
問3	答え 3 重源	重源は朝廷や幕府の協力を得て、東大寺の再建という大事業を主導しました。その際、中国（宋）の新しい技術である「大仏様（天竺様）」を導入し、太い木材を組み合わせて強度を高める力強い建築を行いました。この様式は、当時の武士の気風や鎌倉時代のたくましい文化を象徴するものとなりました。
問4	答え 4 北条泰時	北条泰時は、北条義時の長男として活躍し、乱の直後に京都に六波羅探題を設置して政治基盤を固めました。また、武士の習慣に基づく日本初の武家法典『御成敗式目』を制定し、公平な裁判の実現に努めました。
問5	答え 2 黄金の国ジパング	マルコ・ポーロは『東方見聞録』の中で、日本を「黄金の国ジパング」として紹介しました。実際には訪れていませんでしたが、その記述は当時の地理的知識を飛躍的に広げ、日本が大量の金を産出する国であるという強い印象を与えました。
問6	答え 2 承元の法難	1207年、法然の門弟が起こしたトラブルをきっかけに、旧仏教勢力は朝廷に働きかけました。その結果、法然は承元の法難によって讃岐（現在の香川県）へ流罪となり、多くの弟子も処分されました。これは、新しい教えと古い既得権益側の間の対立が深刻化した事件でした。
問7	答え 4 地頭	守護は各国の軍事指揮や治安維持を行い、地頭は荘園や公領の管理、年貢の徴収を行いました。これにより、幕府は朝廷の権限が強い地域にも介入できるようになりました。地頭の中には、横暴な振る舞いをして農民や荘園領主とトラブルを起こす者も多く、幕府の権力基盤としての側面と、社会問題の原因という側面を持っていました。
問8	答え 3 貞永式目	この時に制定された法律は「御成敗式目」として知られていますが、制定された年号をとって「貞永式目」とも呼ばれます。貴族の慣習ではなく、武士たちの間に蓄積されてきた慣習を尊重したのが特徴で、武士だけでなく、当時領地を管理する上で法的保護を必要としていた人々にとっても重要な指針となりました。
問9	答え 1 フビライ・ハン	第5代皇帝フビライ・ハンは、領土拡大の一環として日本へ朝貢を求めました。しかし、鎌倉幕府がこれを拒否したため、二度にわたる遠征軍（元寇）を派遣しました。また、マルコ・ポーロの『東方見聞録』を通じて、日本を黄金の国ジパングとして世界に紹介したことで知られています。
問10	答え 4 承久の乱	1221年、後鳥羽上皇は幕府を倒すよう命じましたが、北条政子の演説で結束した幕府軍が京都へ進軍し、朝廷軍を撃破しました。この勝利により、幕府の権力は決定的なものとなりました。
問11	答え 1 京都	御家人の重要な軍役の一つに、京都の警備を担う「京都大番役」があります。これは、将軍の命令により一定期間、京都へ赴き治安維持を行うものでした。他にも鎌倉周辺の警備も担当しており、これらは御家人が将軍に対して奉公を果たす具体的な役割でした。
問12	答え 3 鎌倉文化	鎌倉文化は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。彫刻では写実的で力強い表現が、文学では『平家物語』のような軍記物語が人々に親しまれました。また、禅宗の影響を受けて、簡素で力強い美意識が確立されたのも大きな特徴です。
問13	答え 4 題目	日蓮が提唱した修行法が「題目」で、「南無妙法蓮華経」という言葉を繰り返し唱えるものです。これにより、誰でも救われるという教えを強調しました。
問14	答え 2 金剛力士像	東大寺南大門に安置されている金剛力士像は、運慶や快慶らによって作られました。筋肉の隆起や力強い表情など、非常に写実的かつダイナミックな表現が特徴であり、当時の力強い武士の精神性が彫刻にも表れています。
問15	答え 4 阿弥陀仏	阿弥陀仏は、無限の寿命を持ち、すべての生き物を救う仏と信じられていました。鎌倉時代には、念仏を唱えるだけで救われるという考えが民衆に受け入れられ、一遍のような僧侶たちが熱心に信仰を普及させました。

問1 鎌倉幕府において、各地方に配置され、土地の管理や徴税を任された役職を何という？

1. 国司 2. 郡司 3. 守護 4. 地頭

問2 鎌倉幕府の将軍と主従関係を結び、御恩として所領を安堵された武士のことを何という？

1. 御家人 2. 御内人 3. 家人 4. 奉公人

問3 元を訪れ、その見聞を記録として残したイタリアの商人は誰？

1. ザビエル 2. マテオ・リッチ 3. マルコ・ポーロ 4. イブン・バトゥータ

問4 鎌倉幕府において、将軍から領地の所有権を認められるなどの恩恵を何という？

1. 奉公 2. 軍役 3. 御恩 4. 年貢

問5 鎌倉時代にモンゴル帝国を築き、日本への侵攻を命じたとされる君主は誰？

1. フビライ・ハン 2. チンギス・ハン 3. テムジン 4. バトゥ

問6 鴨長明が乱世における世の無常を記した、日本三大随筆の一つとされる作品を何という？

1. 平家物語 2. 方丈記 3. 徒然草 4. 古今和歌集

問7 東大寺南大門の金剛力士像などを制作した、鎌倉時代の有名な仏師は誰？

1. 快慶 2. 湊慶 3. 運慶 4. 重源

問8 元寇に備えて博多湾岸に築かれた、石造りの防壁を別名で何という？

1. 土塁 2. 防塁 3. 石築地 4. 水城

問9 鎌倉時代後半に、荘園領主や幕府の支配に抵抗し、武力を行使して社会を混乱させた勢力を何という？

1. 悪党 2. 寄人 3. 浪人 4. 惣領

問10 マルコ・ポーロが見聞をまとめて出版し、日本を「黄金の国ジパング」として紹介したことで知られる著書を何という？

1. 平家物語 2. 方丈記 3. 世界の記述（東方見聞録） 4. 源氏物語

問11 承久の乱を起こし、鎌倉幕府を倒そうと試みた上皇は誰？

1. 後白河上皇 2. 白河上皇 3. 後醍醐天皇 4. 後鳥羽上皇

問12 鎌倉幕府において、将軍が御家人に本領を安堵したり新恩を給与したりすることと、御家人が軍役などを果たすことの結びつきを何という？

1. 御恩と奉公 2. 本領安堵 3. 新恩給与 4. 年貢徴収

問13 鎌倉幕府において、将軍と主従関係を結び、軍事や行政の実務を担った武士を何という？

1. 公家 2. 御家人 3. 守護 4. 地頭

問14 東大寺南大門などに見られる、鎌倉時代の武士の気風を反映した力強い文化を何という？

1. 室町文化 2. 鎌倉文化 3. 天平文化 4. 国風文化

問15 鎌倉時代末期に、御家人の困窮や荘園制度の混乱の中で、幕府に従わず力で支配しようとした武士たちを何という？

1. 守護 2. 悪党 3. 御家人 4. 地頭

答え合わせ・解説

問1	答え 4 地頭	地頭は、御家人の中から任命され、土地の管理や年貢の徴収を行いました。単なる管理役にとどまらず、次第にその土地での権力を強めていき、武士の地方支配の拠点となりました。特に承久の乱の後には、幕府が地頭を全国の荘園や公領に配置したことで、幕府の統治範囲が飛躍的に拡大しました。
問2	答え 1 御家人	御家人は、将軍から領地の所有権を認められる「御恩」を受ける代わりに、京都や鎌倉の警備、合戦時の軍役といった「奉公」の義務を負いました。将軍と御家人の結びつきは「御恩と奉公」という主従関係で成り立っており、これが鎌倉幕府を支える強力なシステムでした。
問3	答え 3 マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロは父親らと共にヴェネツィアを出発し、数年かけてモンゴル帝国の都である大都に到着しました。彼は約17年間フビライ・ハンに仕え、中国全土を巡察して貴重な情報を得ました。帰国後に執筆された『東方見聞録』では、東洋の富の凄まじさや、日本の存在について詳細に記しました。
問4	答え 3 御恩	御恩とは、将軍が御家人に対して行う経済的・地所的な保護のことです。主なものとして、先祖伝来の土地の所有を認める「本領安堵」や、手柄を立てた者への「新恩給与」がありました。これに対し、御家人は軍役（戦いの際の兵士としての務め）や京都・鎌倉の警備などの奉公を果たす必要がありました。
問5	答え 1 フビライ・ハン	第5代皇帝フビライ・ハンは、領土拡大の一環として日本へ朝貢を求めました。しかし、鎌倉幕府がこれを拒否したため、二度にわたる遠征軍（元寇）を派遣しました。また、マルコ・ポーロの『東方見聞録』を通じて、日本を黄金の国ジパングとして世界に紹介したことで知られています。
問6	答え 2 方丈記	『方丈記』は、こうした激動の時代を生きた鴨長明による随筆です。作者自身が世俗を離れて山の中に住まい、人々の苦しみや災害の恐ろしさ、そしてこの世がいかに儚いものであるかを鋭い洞察で綴っています。「ゆく河の流れは絶えずして」という有名な冒頭文は、鎌倉時代の文学を象徴する無常観を端的に表しています。
問7	答え 3 運慶	「運慶」は、奈良の東大寺南大門に安置されている巨大な「金剛力士像」を、快慶らと共に制作した仏師です。筋肉の動きや表情までリアルに再現する写実的な作風は、当時の人々に衝撃を与えました。
問8	答え 2 防塁	防塁（石築地）は、博多湾岸に長さ約20kmにわたって築かれた石の壁です。これにより、元軍の得意とする騎馬戦術や集団行動を封じ込め、日本軍が待ち伏せや遠距離からの弓矢攻撃を行いやすい環境を作りました。鎌倉幕府の組織力と御家人の動員力が発揮された代表的な防衛事業です。
問9	答え 1 悪党	彼らは「悪党」と呼ばれ、有力な武士や農民などが混在した武装集団でした。法や権威に縛られず、独自の論理で武力を行使する存在でした。
問10	答え 3 世界の記述（東方見聞録）	帰国後に獄中で語った内容が記録され、出版されたのが『世界の記述（東方見聞録）』です。この書物には、当時の中国の繁栄や日本の富について書かれており、ヨーロッパの人々にアジアへの関心を抱かせました。
問11	答え 4 後鳥羽上皇	1221年、後鳥羽上皇は全国の武士に対して北条義時を討つよう院宣（命令）を出しました。しかし、幕府軍の迅速な対応により朝廷側は敗北し、上皇は隠岐へ流されました。
問12	答え 1 御恩と奉公	将軍が武士（御家人）の土地の支配を保障することや、新しい土地を与えることを「御恩」といいます。対して、武士は京都や鎌倉の警備をしたり、戦いの際に軍役を務めたりする「奉公」を行いました。この相互の契約関係が幕府の統治の基盤となりました。
問13	答え 2 御家人	御家人は、将軍から領地を安堵される「御恩」を受ける代わりに、戦時の軍役や京都・鎌倉の警備といった「奉公」を義務付けられました。彼らは幕府の制度を支える重要な存在であり、北条氏などの有力御家人は幕府の政治運営においても中核を担いました。
問14	答え 2 鎌倉文化	鎌倉文化は、質実剛健を重んじる武士の性格が反映され、力強く写実的な表現が特徴です。彫刻では運慶・快慶による力強い仏像が作られ、文学では『平家物語』のような戦いの様子を描いた物語が好まれました。建築でも、東大寺南大門に代表されるような、堂々とした様式が取り入れられました。
問15	答え 2 悪党	「悪党」とは、当時の法や幕府の秩序に従わず、荘園の年貢を奪うなど実力行使を行う武士たちを指します。幕府は彼らを「悪党」と呼んで厳しく取り締まろうとしましたが、社会が不安定化する中では抑えきれませんでした。

問1 鎌倉幕府において、将軍が御家人の所領を保護・保証することを何という？

1. 所領安堵 2. 奉公 3. 知行国 4. 御恩

問2 『徒然草』のように、筆者が日々の出来事や感じたことを自由に書き留める文学形式を何という？

1. 歌集 2. 随筆 3. 説話集 4. 軍記物

問3 東大寺南大門などに見られる、鎌倉時代の武士の気風を反映した力強い文化を何という？

1. 室町文化 2. 鎌倉文化 3. 天平文化 4. 国風文化

問4 座禅を通して修行し、自己の心を見つめることを重視する、鎌倉幕府から保護を受け武士に広まった仏教の一派を何という？

1. 禅宗 2. 浄土宗 3. 浄土真宗 4. 日蓮宗

問5 鎌倉時代に新しい仏教の一派である「時宗」を開き、布教活動を行った僧侶を何という？

1. 日蓮 2. 道元 3. 一遍 4. 親鸞

問6 鎌倉幕府において、将軍が御家人の何を守る（安堵する）ことを根拠とした主従関係を「御恩と奉公」という？

1. 土地 2. 年貢 3. 商圏 4. 貨幣

問7 1274年にモンゴル帝国が初めて日本を襲撃した戦いを何という？

1. 弘安の役 2. 元寇 3. 文永の役 4. 応仁の乱

問8 二度の元寇の際、鎌倉幕府の執権として指揮をとった人物は誰？

1. 北条時宗 2. 北条貞時 3. 北条時頼 4. 北条高時

問9 法然が掲げた、ただ念仏を唱えるだけで救われるという教えを何という？

1. 専修念仏 2. 護国信仰 3. 唱題 4. 座禅

問10 鎌倉時代初期に焼失したあと、源平の戦いの後に再建された奈良にある有名な寺院を何という？

1. 興福寺 2. 法隆寺 3. 唐招提寺 4. 東大寺

問11 法然が庶民に信仰を広めた、死後の安らかな世界を何という？

1. 解脱 2. 涅槃 3. 浄土 4. 極楽

問12 鎌倉時代後期に、困窮して幕府の支配に抵抗するようになったかつての幕府の味方は誰？

1. 御家人 2. 公家 3. 荘園領主 4. 地頭

問13 鎌倉時代に栄西によって伝えられ、曹洞宗とともに武士から厚い支持を受けた禅宗の宗派を何という？

1. 臨済宗 2. 時宗 3. 浄土宗 4. 日蓮宗

問14 鎌倉幕府が、年貢の徴収や土地の管理、治安維持のために各地に置いた役職を何という？

1. 守護 2. 評定衆 3. 執権 4. 地頭

問15 元寇の際、防衛のために石築地が築かれた現在の福岡県にある湾を何という？

1. 鎌倉 2. 壇ノ浦 3. 博多湾 4. 大宰府

問16 琵琶法師によって語り継がれた、平氏一族の栄枯盛衰を描いた軍記物語を何という？

1. 徒然草 2. 平家物語 3. 方丈記 4. 古今和歌集

答え合わせ・解説

問1	答え 1 所領安堵	所領安堵とは、御家人が持つ土地の支配権を将軍が保証する仕組みです。御家人は、将軍からこの御恩を受ける代わりに、戦場での戦いや京都の警備といった軍役を果たす義務がありました。この「御恩と奉公」の精神が、幕府の強力な支配体制を支える土台となりました。
問2	答え 2 随筆	随筆（エッセイ）は、決まった形式に縛られず、個人の内面や世の中に対する洞察を記すものです。鎌倉時代には吉田兼好の『徒然草』が、平安時代の清少納言の『枕草子』と並ぶ代表的な随筆として知られます。
問3	答え 2 鎌倉文化	鎌倉文化は、質実剛健を重んじる武士の性格が反映され、力強く写実的な表現が特徴です。彫刻では運慶・快慶による力強い仏像が作られ、文学では『平家物語』のような戦いの様子を描いた物語が好まれました。建築でも、東大寺南大門に代表されるような、堂々とした様式が取り入れられました。
問4	答え 1 禅宗	禅宗は、厳しい修行や座禅を通して、自らの内面を見つめることを教える仏教です。特別な書物よりも、師から弟子への心身を通じた教えを重んじました。その簡素で厳格な生活態度は、武士たちの気風と非常に相性が良く、幕府の庇護もあって急速に普及しました。
問5	答え 3 一遍	一遍は浄土教の一派である時宗を開きました。彼は諸国を旅しながら、念仏を唱えて踊る「踊念仏」や、念仏を記した札を配る「賦算（ふさん）」といった活動を行い、身分を問わず広く信仰を集めました。彼の活動記録は「一遍上人絵伝」として残されています。
問6	答え 1 土地	将軍は御家人の領地（本領）を「安堵（保証）」し、時には新しい領地（新恩給与）を与える「御恩」を与えました。一方、御家人は戦いの際に軍役に従事したり、幕府の警備をするなどの「奉公」を行いました。
問7	答え 3 文永の役	この戦いは文永の役と呼ばれ、元軍は対馬や峇岐を占領した後に博多湾に上陸しました。日本の武士は集団戦法を用いる元軍に苦戦しましたが、嵐の影響などで元軍が撤退したため、大きな戦禍は最小限に留まりました。
問8	答え 1 北条時宗	北条時宗は鎌倉幕府の第8代執権です。元からの服属要求に対し、使者を処刑するという強硬な姿勢をとりました。1274年の文永の役、1281年の弘安の役の際には、自ら指揮を執り、防塁の建設や御家人への動員命令を通じて国家の危機を救いました。
問9	答え 1 専修念仏	専修念仏は、複雑な修行や学問を必要とせず、ただ「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えるだけで、阿弥陀仏の救いを受けて浄土へ往生できるという教えです。法然によって提唱されたこの思想は、難しい修行ができない庶民にも広く理解されました。
問10	答え 4 東大寺	鎌倉幕府の協力のもと、重源という僧が中心となり、東大寺の再建が進められました。全国から寄付を募り、当時の最高の仏師たちによって多くの仏像が新造されました。南大門の金剛力士像はその象徴として制作されたものです。
問11	答え 3 浄土	浄土とは、阿弥陀仏が治める、迷いや苦しみから解放された極楽世界のことを指します。法然は、この浄土へ生まれ変わることを願い、ひたすら念仏を唱えることが重要だと説きました。この信仰は、現世の不平等に苦しむ人々にとって、唯一の救いとしての意義を持っていました。
問12	答え 1 御家人	経済的に追い詰められた御家人は、借金を重ねるなどして没落していきました。その結果、一部の御家人は荘園領主の土地を奪ったり、幕府の命令を無視して年貢の徴収を妨害したりする「悪党」となりました。この存在は、鎌倉幕府の支配体制が全国的に崩壊しつつあることを象徴しています。
問13	答え 1 臨済宗	臨済宗は、栄西が中国（宋）から日本に伝えた禅宗です。座禅を通じて自分自身を見つめ直し、悟りを開くことを目的とします。座禅の際に問いかけを用いる「公案（こうあん）」という独特の修行方法があるのが特徴です。
問14	答え 4 地頭	地頭は、荘園や公領において年貢の取りまとめや土地の管理を行いました。また、治安維持や裁判の補助を行う警察的な役割も担うようになり、次第に現地の武士として強い権力を持つようになりました。
問15	答え 3 博多湾	博多湾は、元軍の主要な上陸地点となりました。二度目の襲来（弘安の役）に備え、幕府は博多湾岸に「石築地（防塁）」を築かせ、元軍の騎馬隊が上陸するのを防ぐとともに、日本軍が弓矢で戦いやすいような工夫をしました。この防衛線の強固さが、元軍の上陸を阻む大きな要因となりました。
問16	答え 2 平家物語	『平家物語』は、平清盛をはじめとする平氏一族の栄華と、源氏との戦いによる滅亡を描いた作品です。「祇園精舎の鐘の声」という有名な一節にあるように、世の中の無常さを説く「無常観」が根底に流れています。

問1 踊り念仏を広めながら全国を巡る一遍の様子が描かれている絵巻物を何という？

1. 鳥獸戯画 2. 年中行事絵巻 3. 平治物語絵巻 4. 一遍上人絵伝

問2 鎌倉時代末期に『徒然草』を著した人物は誰？

1. 吉田兼好 2. 菅原孝標女 3. 鴨長明 4. 清少納言

問3 鎌倉幕府が成立当初、支配の中心としていた地域を何という？

1. 南日本 2. 北日本 3. 東日本 4. 西日本

問4 鎌倉時代後半に、荘園領主や幕府の支配に抵抗し、武力を行使して社会を混乱させた勢力を何という？

1. 悪党 2. 寄人 3. 浪人 4. 惣領

問5 鎌倉時代に東大寺南大門を再建し、大仏様の建築様式を取り入れた僧侶は誰？

1. 親鸞 2. 道元 3. 重源 4. 明庵栄西

問6 法然が庶民に信仰を広めた、死後の安らかな世界を何という？

1. 解脱 2. 涅槃 3. 浄土 4. 極楽

問7 北条泰時が制定した、日本最初の武家法の別名を何という？

1. 建武式目 2. 公事方御定書 3. 貞永式目 4. 御成敗式目

問8 法然の教えを継承し、さらに全国へと広めていった弟子は誰？

1. 空海 2. 法然 3. 親鸞 4. 最澄

問9 鎌倉時代、朝廷やその有力な支援者たちが支配していた土地を何という？

1. 武士 2. 職人 3. 農民 4. 貴族

問10 鎌倉時代、領地の細分化により生活が困窮した武士のことを何という？

1. 御内人 2. 守護 3. 御家人 4. 地頭

問11 浄土真宗を開き、念仏を唱えれば誰でも救われると説いた人物は誰？

1. 日蓮 2. 法然 3. 親鸞 4. 道元

問12 元軍の襲来に備えて、鎌倉幕府が九州北部の海岸に築いた石造りの防衛線を何という？

1. 防塁 2. 屯所 3. 寄合 4. 番役

問13 鎌倉幕府を倒し、1334年から天皇中心の政治を復活させようとした天皇は誰？

1. 後醍醐天皇 2. 後龜山天皇 3. 後村上天皇 4. 後光厳天皇

問14 日蓮が仏教の真の教えが記されていると説いた経典の名前は何か？

1. 観無量寿経 2. 阿弥陀経 3. 般若心経 4. 法華経

問15 1232年に日本最初の武家法を制定した、鎌倉幕府の三代執権は誰？

1. 北条時宗 2. 北条時頼 3. 北条泰時 4. 北条政子

問16 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒を目指して挙兵し、敗北した事件を何という？

1. 承久の乱 2. 保元の乱 3. 元寇 4. 平治の乱

答え合わせ・解説

問1	答え 4 一遍上人絵伝	一遍上人絵伝は、時宗の開祖・一遍が各地を巡り、踊り念仏を広めて多くの人々に救済を説く姿を描いています。当時の風景や服装、人々の様子が細部まで克明に描写されているのが特徴です。
問2	答え 1 吉田兼好	吉田兼好（兼好法師）は、元は官職に就いていましたが、のちに仏門に入り、各地を旅しながら執筆活動を行いました。その代表作『徒然草』は、無常観や生活の知恵、日々の感想を独自の感性で綴った作品です。
問3	答え 3 東日本	鎌倉幕府の当初の支配圏は、主に「東日本」に限られていました。これは頼朝が相模国（神奈川県）の鎌倉を根拠地としたためです。
問4	答え 1 悪党	彼らは「悪党」と呼ばれ、有力な武士や農民などが混在した武装集団でした。法や権威に縛られず、独自の論理で武力を行使する存在でした。
問5	答え 3 重源	重源は朝廷や幕府の協力を得て、東大寺の再建という大事業を主導しました。その際、中国（宋）の新しい技術である「大仏様（天竺様）」を導入し、太い木材を組み合わせて強度を高める力強い建築を行いました。この様式は、当時の武士の気風や鎌倉時代のたくましい文化を象徴するものとなりました。
問6	答え 3 浄土	浄土とは、阿弥陀仏が治める、迷いや苦しみから解放された極楽世界のことを指します。法然は、この浄土へ生まれ変わることを願い、ひたすら念仏を唱えることが重要だと説きました。この信仰は、現世の不平等に苦しむ人々にとって、唯一の救いとしての意義を持っていました。
問7	答え 3 貞永式目	この時に制定された法律は「御成敗式目」として知られていますが、制定された年号をとって「貞永式目」とも呼ばれます。貴族の慣習ではなく、武士たちの間に蓄積されてきた慣習を尊重したのが特徴で、武士だけでなく、当時領地を管理する上で法的保護を必要としていた人々にとっても重要な指針となりました。
問8	答え 3 親鸞	親鸞は、法然の弟子として学び、その教えをより徹底させました。特に「悪人正機」という思想を打ち出し、罪深い人間ほど阿弥陀仏の救いが必要であると説きました。彼は師匠の教えを独自の解釈で発展させ、浄土真宗を開いて全国に広めました。
問9	答え 4 貴族	貴族は、朝廷の官職に就くことで権力を持ち、経済基盤として荘園を経営していました。鎌倉時代に入り、武士による政治（幕府）が成立すると、貴族の政治的影響力は徐々に低下していきましたが、京都を中心に高度な文化を保持し続けました。
問10	答え 3 御家人	御家人は、将軍から先祖伝来の領地を安堵（保証）され、新しい土地を与えられる「御恩」を受ける代わりに、将軍のために戦う「軍役」や、京や鎌倉を警備する「番役」などの「奉公」を義務付けられていました。しかし、分割相続による領地の細分化や、元寇後の論功行賞の不足により経済的に苦しくなりました。
問11	答え 3 親鸞	親鸞は、法然の弟子として活動し、阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えれば、罪深い人間であっても救われるという「悪人正機説」を説きました。門徒を自称する人々を中心に、武士や農民へ広く浸透しました。自身の教団を組織し、絶対他力を強調した点が特徴です。
問12	答え 1 防塁	博多湾の沿岸などに高さ約2メートルの石垣を築き、元軍の上陸を阻止するための備えとしました。この石垣を石築地（いしつじ）とも呼びます。
問13	答え 1 後醍醐天皇	後醍醐天皇は足利尊氏や新田義貞ら有力武士の協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。その後、1334年に天皇による直接統治を目指す「建武の新政」を開始しました。
問14	答え 4 法華経	日蓮は、数ある経典の中で『法華経』こそが釈迦の教えの真髄であると主張しました。この経典を信じ、「南無妙法蓮華経」という題目（唱える言葉）を唱えることが、人々の救いにつながると説いたのです。
問15	答え 3 北条泰時	北条泰時は、連署の北条時房と共に「御成敗式目」を制定しました。これは武士社会の実態に合わせた最初の法律で、全51条からなり、土地争いの解決などを重視していました。泰時は、自らの家系が権力を持つ中であっても、法に従って公平な判決を下すことを重視し、執権政治を安定させました。
問16	答え 1 承久の乱	1221年、後鳥羽上皇が幕府の倒幕を狙って挙兵した事件を承久の乱と呼びます。北条政子の演説によって御家人たちが結集し、幕府軍は朝廷軍を圧倒しました。この乱の結果、幕府は朝廷の力を抑え込むことに成功し、天皇の廃位や配流を行う権限まで持つようになりました。

問1 鴨長明が活躍し、古典文学が発展した時期を何という？

1. 鎌倉時代 2. 奈良時代 3. 平安時代 4. 室町時代

問2 鎌倉時代に日蓮が唱えた「題目を唱えるだけで救われる」という教えにより、支持を集めた対象となった人々を何という？

1. 武士 2. 民衆 3. 貴族 4. 公家

問3 鎌倉時代に臨済宗を日本に伝えた僧侶は誰？

1. 日蓮 2. 道元 3. 親鸞 4. 栄西

問4 浄土真宗において、武士以外に強く支持された、当時の生産活動を担う人々を何という？

1. 僧侶 2. 公家 3. 農民 4. 武士

問5 源頼朝の弟として、壇ノ浦の戦いで平氏を打ち破る中心的な役割を果たした人物は誰？

1. 源頼朝 2. 源範頼 3. 源義仲 4. 源義経

問6 鎌倉時代の武士が好んだ、飾らずに自分を律する生活態度のことを何という？

1. 簡素 2. 厳格 3. 質素 4. 勇猛

問7 鎌倉時代において、御恩と奉公を通じた将軍と御家人の結びつきによって成立した政治権力を何という？

1. 室町幕府 2. 江戸幕府 3. 明治政府 4. 鎌倉幕府

問8 鎌倉時代に御家人が負担した、戦いのための動員や役務を何という？

1. 公事 2. 軍役 3. 雑役 4. 番役

問9 承久の乱で朝廷に勝利した後、鎌倉幕府が京都の朝廷を監視するために設置した役所を何という？

1. 京都守護 2. 六波羅探題 3. 鎮西探題 4. 関東申次

問10 鎌倉時代に広まった新しい仏教の一つである時宗を開き、念仏を唱えながら踊るという布教方法をとった僧侶は誰？

1. 親鸞 2. 栄西 3. 一遍 4. 法然

問11 元を訪れ、その見聞を記録として残したイタリアの商人は誰？

1. ザビエル 2. マテオ・リッチ 3. マルコ・ポーロ 4. イブン・バットウータ

問12 鎌倉時代、執権の北条泰時が制定した法律を何という？

1. 1192 2. 1185 3. 1333 4. 1232

問13 鎌倉時代、源頼朝が全国の荘園や公領の管理・年貢徴収をさせるために設置した役職を何という？

1. 地頭 2. 執権 3. 守護 4. 評定衆

問14 法然の教えを継承し、さらに全国へと広めていった弟子は誰？

1. 空海 2. 法然 3. 親鸞 4. 最澄

問15 北条泰時が制定した御成敗式目の別称で、制定された年号に由来する呼び名を何という？

1. 武家諸法度 2. 建武式目 3. 貞永式目 4. 公事方御定書

問16 承久の乱を起こし、鎌倉幕府を倒そうと試みた上皇は誰？

1. 後白河上皇 2. 白河上皇 3. 後醍醐天皇 4. 後鳥羽上皇

答え合わせ・解説

問1	答え 1 鎌倉時代	この時代には、戦乱の不安や厳しい生活環境を背景に、無常観を混えた文学が発展しました。鴨長明の『方丈記』のように、世の移り変わりや自然の厳しさを冷静に見つめる作品が数多く書かれました。
問2	答え 2 民衆	日蓮の教えは、難しい書物を読まなくても「南無妙法蓮華経」と唱えるだけで良いというものでした。この分かりやすさと、社会の悪を鋭く批判する日蓮の態度は、日々の生活に苦しむ民衆に強く支持されました。この支持によって、鎌倉新仏教は急速に広まりました。
問3	答え 4 栄西	栄西は二度中国へ渡り、そこで修行して帰国後に臨済宗を伝えました。彼は座禅によって悟りを開くことを説き、武士たちの間に広く支持されました。また、宋からお茶の種を持ち帰ったことでも有名です。
問4	答え 3 農民	親鸞の教えは、難しい経典を必要としないため、読み書きが苦手な農民にも広く浸透しました。当時の厳しい生活環境の中で、平等に救われるという教えは、人々の大きな支えとなりました。これにより、各地で門徒と呼ばれる信者の集団が形成され、大きな勢力となりました。
問5	答え 4 源義経	源義経は、一ノ谷の戦いや屋島の戦いなど、数々の戦いで創意工夫を凝らした戦術を用いて平氏を追い詰めました。最終的な決戦となった壇ノ浦の戦いにおいても、巧みな指揮で源氏の勝利を決定づけました。その武勇は伝説化され、日本で最も有名な英雄の一人となりました。
問6	答え 2 厳格	鎌倉時代の武士は、富や権力を誇示するよりも、質素で厳格な生活を送り、主君に対する絶対的な忠誠を誓うことを美德としました。この精神性は、仏教の禅宗の普及とも結びつき、武士社会における倫理規範として定着しました。
問7	答え 4 鎌倉幕府	鎌倉幕府の政治は、将軍が御家人に対し領地を保証し、御家人がそれに応じて軍事的奉公をするという「御恩と奉公」を骨子としています。土地が何よりも重要視された時代であり、この仕組みが全国的な支配体制を支える根幹でした。御成敗式目などの法整備も行われ、武士社会の秩序が保たれました。
問8	答え 2 軍役	軍役は、御家人が「奉公」として果たさなければならない主要な義務です。戦が起きた際に手勢を率いて駆けつけたり、京都や鎌倉の警備に当たったりすることが求められました。これは御恩に対する見返りであり、御家人の家格や領地の広さに応じて課されることが一般的でした。
問9	答え 2 六波羅探題	鎌倉幕府は京都に「六波羅探題」を設置しました。これは、単に京都の治安維持を行うだけでなく、朝廷の監視、さらには西日本の御家人の裁判や統率を担う重要な機関でした。これにより幕府の支配力は西日本にまで大きく広がることとなりました。
問10	答え 3 一遍	一遍は時宗の開祖であり、念仏を唱えることが救済につながると説きました。特に「踊り念仏」というユニークな布教活動を通じ、全国を回って信者を獲得しました。特定の教理を学ぶことよりも、ひたすら念仏を唱えるという平易な教えが特徴です。
問11	答え 3 マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロは父親と共にヴェネツィアを出発し、数年かけてモンゴル帝国の都である大都に到着しました。彼は約17年間フビライ・ハンに仕え、中国全土を巡察して貴重な情報を得ました。帰国後に執筆された『東方見聞録』では、東洋の富の凄まじさや、日本の存在について詳細に記しました。
問12	答え 4 1232	この法律は、それまでの習慣を基礎とし、武士社会の道理に基づいて裁判を行うための基準を明確にしたものです。これにより、幕府による全国的な裁判の公平性が保たれるようになりました。
問13	答え 1 地頭	1185年、頼朝は朝廷から各地への「地頭」の設置を認めさせました。地頭は、荘園や公領において年貢の取り立てや、土地の管理・警察的な役割を担いました。これにより、幕府の権力が全国各地に及ぶようになり、武士が実質的な地方支配の主役となりました。
問14	答え 3 親鸞	親鸞は、法然の弟子として学び、その教えをより徹底させました。特に「悪人正機」という思想を打ち出し、罪深い人間ほど阿弥陀仏の救いが必要であると説きました。彼は師匠の教えを独自の解釈で発展させ、浄土真宗を開いて全国に広めました。
問15	答え 3 貞永式目	制定された1232年の元号が「貞永」であったため、御成敗式目は「貞永式目」とも呼ばれます。特に、守護の権限を警察・裁判権に限定する「大犯三箇条」などが規定され、御家人の権利を守る内容が含まれていました。
問16	答え 4 後鳥羽上皇	1221年、後鳥羽上皇は全国の武士に対して北条義時を討つよう院宣（命令）を出しました。しかし、幕府軍の迅速な対応により朝廷側は敗北し、上皇は隠岐へ流されました。